

地域が育つ! 地域と育つ!

わが町の取り組み

横須賀市は
「スクールコミュニティ」を推進しています。

スクール
コミュニティとは

地域の方にとって愛着のある小学校を、世代を超えた人たちが交流できる新しい活動拠点とし、子どもから高齢者までさまざまな世代の交流を促進し、地域のコミュニティ活動をさらに元気にする取り組みです。

次世代の担い手である子どもたちに、生き生きと活動する大人の姿を見せ、将来地域活動への参加が自然にできるような環境を、地域が主体となり作っていきます。

地域のコミュニティ力の強化

既存の団体や、現在の生活スタイルでは関わる機会が少ない人たちの新たな出会いの場とし、地域活動に参加しやすいきっかけとなることを目指します。また、子どもたちを介して人と人をつなぎ、地域のコミュニティ力をさらに高めていきます。

子どもたちの豊かな成長

家族以外の世代を超えた大人と関わり、思いやりや社会のルールを体感し、豊かな人間形成がされることを目指します。

スクール
コミュニティの
目指すもの

期待できる効果

地域

- 現在の地域活動に対して参加しづらさを感じている方にとって、新しい取り組みは、参加するきっかけになります。
- 新たな出会いの場から、次世代の地域の担い手の発掘が期待されます。
- 子どもたちと関わり支え手となることで、新たな生きがいが見つかります。

子ども

- 地域の歴史が伝承され、地域に対する愛着や誇りが生まれます。
- 生き生きと活躍する大人の姿を間近で見ることで、豊かな人間性が育まれます。
- 家族以外の大人と関わり、褒められる経験は自己肯定感の向上につながります。

保護者

- 地域に子どもを見守ってくれる人が増え、安心感が増します。
- 身近に相談できる環境ができ、子育てに関する不安感が解消されます。





汐入小学校 汐入小学校区スクールコミュニティ実行委員会

スクールコミュニティの活動を実施するため、令和元年10月に地域の有志の皆さんによって汐入こども応援団が結成されました。小学校内で活動する際は、低学年児童でも不審者と見分けができるよう、専用の水色のベストを着用して活動しています。

児童と応援団のふれあい活動として令和元年10月～令和2年3月（現在は新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止中）、放課後に被服室や校庭、体育館で昔遊び・廃材を使った工作・凧あげ・カラーリングなど言葉を交わしながら一緒に楽しい時間を過ごしました。

活動回数 14回（毎週水曜日15時～16時30分）

延べ参加人数 汐入小学校児童257人 汐入こども応援団131人



馬堀小学校 馬堀小学校区地域づくり協議会

平成22年2月に馬堀地区の6つの町内会・自治会が、今まで以上に子どもたちが明るく楽しく安全に、そして地域の方々が日々安心して暮らせる街にするため、町内会の垣根を外し協力していこうと立ち上げました。地域と小学校が密に連携を図りながら子どもたちの成長を見守る温かい和ができています。

馬堀わんわんパトロール隊

ワンちゃんに「スウィングボーン」を付けてお散歩をしてもらうことで、犯罪抑止効果を得ることを目的としています。また、馬堀地区の犬の飼い主さんの親睦を深めるとともに、今後は犬連れの避難訓練や、それにまつわる講習会なども開催したいと思っています。



まぼりっ子広場の芝の手入れ

子どもたちの活動の場である、まぼりっ子広場の草刈り、芝の種まきなどの手入れをしています。子どもたちも参加して雑草抜き、刈った草の運搬を頑張りました。皆で協力して1年中、きれいな芝を保っています。



「スクコミだより」の発行

子どもたちを取り巻く地域の輪を広げるため、「スクコミだより」を発行し地域住民へ活動内容をお知らせしています。





鷹取小学校 スクールコミュニティ実行委員会

地域の代表者による実行委員会を立ち上げ、「大人が楽しむ場所」と「子どもが豊かに学ぶ場所」の体制作りを検討しています。子どもが自然に大人たちの活動に触れ合うことができるような環境を目指しています。

壁画・下駄箱制作活動

6年生が地域の方に刷毛の使い方、ペンキの塗り方を指導してもらい、西友広場の壁画リフォームと地域の方の下駄箱を作りました。



農園づくり

地域の方が集う場所、子どもたちが学ぶ場所として、農園の開拓が始まりました。地域の有志の方々が石や根を除去し土をおこし、子どもたちと一緒にジャガイモを植えました。収穫を楽しみに皆で育てていきます。



地域とのつながり

人は一人で生きて行く事はできません。友達や周りの方とのつながりの中で、認め合い、安心を得て生きています。子どもや高齢者の方、障害者の方はもちろん、私たちは誰でも、周りの人たちのちょっとした気遣いや心遣いの中で暮らしています。自由な時間が少なくなりつつある今の世の中、たまの休日は自由に過ごしたいものですが、そんな中にも日頃から地域のネットワークを築き、「地域のひととの付き合い」を大事にしておきたいものです。

▶ 地域活動に参加するメリット

それぞれの地域には、年間を通して、お祭り、運動会、集まりごとなど様々な地域行事が開催されます。そのような場で、ご近所さんと顔なじみになっておくことは、万一の災害などの際に助け合えるのはもちろん、子どもの社会性を養ううえでも大きなメリットがあります。無理はせず「お互い様」の気持ちを持って、地域の活動に取り組みましょう。



▶ 地域のコミュニティは子どもの情緒や社会性を育んでくれる

近年の子どもたちは、多くの情報に囲まれた環境にいるため、世の中についての知識は増えているものの、社会生活での人との関わり方や、集団で生活していく上で必要になるコミュニケーション力が失われつつあります。

地域の集まりを通じて、人との関わり方や、コミュニケーション力を養うことは、子どもたちにとって、とても良い機会ではないでしょうか。お祭りや伝統行事で季節を感じることも情操教育の観点からも、とても重要な事です。





ビーチクリーン&コーミングと貝殻アート制作 横須賀青年会議所/久里浜地区連合町内会

開催当日、久里浜海岸は雲一つない晴天に恵まれました。町内の小学生とその保護者の参加のもと、地元町内会長や地域の方々が見守るなか、海浜でいろいろな形をした貝殻などを拾い集め、横須賀総合高校美術部の皆さんにアドバイスをもらいながら、それぞれに工夫を凝らした作品が完成しました。



目的 地域の特徴や資源を活用しながら、地域の魅力を再発見するとともに、子どもたちに地域の魅力を伝え、地域内での交流を深めることを目的とした活動です。



野比子どもながら見守り 野比地区連合町内会

ウォーキングや犬の散歩、植物への水やりなどを兼ねながら、子どもたちの登下校の見守りを行っています。「～ながら」の活動なので、皆さん無理なく継続してもらえます。また、日々の見守りで気づいたことを情報共有するなど、地域のことをより深く知るきっかけにもなっています。スタート時は30人で始めた活動ですが、現在は230人まで増えました。登録目標数250人までもう少しです。

また、月2回、防犯パトロールも行っていますが、普段、地域の人と会う機会が少ない方も参加し楽しみながら活動してくれています。

思い 地域活動において大切な「助け合い」の精神を地域住民で共有すること。また、お互いに顔が見える関係を普段からつくっておくことで防犯や災害時にも役立つと考えています。そのために、町内会の盆踊りでは中学生に屋台のお手伝いをしてもらい、地域の方と交流する機会をつくっています。



小矢部こども農園 小矢部町内会

5月に子どもたちがサツマイモの苗を植え付け、地域の方々が蔓起こしや草刈りを行い、11月に大収穫祭を開催しました。予想以上に大きく立派なサツマイモの出来栄に、子どもたちだけでなく大人も大興奮！地域の方が事前に蒸してくれたおイモを味見したら、「美味しい!」とみんな大喜びでした。自分で掘り上げたサツマイモを嬉しそうに持ち帰り、大成功の大収穫祭でした。



思い コロナ禍で思うような地域活動ができないなか、地域の大人と子どもと一緒に活動できる場として農園を開園しました。地域の子どもたちが土に親しみ、作物を育てる喜びを体験することで、郷土愛を育むことができる取り組みを行いたいと考えました。



「盆踊り」ディスダンスBON 大津町5丁目町内会

コロナ禍で地域活動が停滞するなかで、参加者ひとりひとりのディスタンスを確保しながら、7月に盆踊り、8月にお祭りを開催しました。お祭りでは参加者にお揃いのマスクを配布するなど、地域の一体感を生むことができる取り組みになるよう内容を工夫しながら行うことができました。

思い 昨年度はまったくイベントが実施できませんでした。今年も行わないことになってしまうと次に開催することがとても困難になることに加え、コロナ禍で人と会うことが難しい時期であるからこそ、人と会うことの大切さや地域の団結が必要だと考え、コロナ対策を万全にして開催することにしました。

